



連日の最高気温を見ただけで倒れそうな夏が終わり、気づけば9月13日は十五夜です。資料館のお月見展にちょっと立ち寄った後は、この秋の月夜をゆっくり眺めてみてはいかがでしょうか。

1階ホール季節展

# お月見展

**9月6日(金)~10月6日(日)**

9月13日(旧暦の8月15日)は、十五夜です。資料館では、十五夜や十三夜のお月見にまつわる風習や供え方などについて紹介するミニ展示をおこないます。



過去の展示の様子

## 今年度の歴史文化講座が始まります!!

テーマは「万葉集と古代の実像」です。

- 第1回 9/8(日) 「「令和」と万葉集」北川和秀さん(県立女子大学名誉教授)
- 第2回 10/6(日) 「上野三碑から見た万葉集の時代」前澤和之さん(県地域文化研究協議会長)
- 第3回 11/10(日) 「史跡上野国分寺跡の発掘調査」橋本 淳さん(県文化財保護課)
- 第4回 12/1(日) 「発掘調査から探る伊勢崎の古代」出浦 崇さん(市文化財保護課)

・時間 午後1時30分から午後3時まで

・参加料 無料

・場所 赤堀歴史民俗資料館2階研修室

・定員 40人

展示資料シリーズ20 ~資料館で展示しています~

## 一緒に出土した縄文土器



●2点の縄文土器は形状がやや異なりますが、文様は共通しています。まず縄を転がして文様を付けています。その後、縄を貼り付けたような刻みを付けた細い紐をいくつも貼り付け、上部では渦巻状にしています。共に高さ約35cm。

●左の2点の土器は約6,000年前の縄文土器で、菅野遺跡(香林町一丁目)の土坑(穴)から出土しました。出土した状態などから、埋葬時に土器を一緒に入れた墓ではないかと考えられます。そのため、墓から出土した2点の土器は、同時期に使用された縄文土器と考えることができ、縄文時代のある一定の短い時間の中で、どのような特徴をもった土器が使用されていたのか理解できる資料となります。



●墓と考えられる穴からは、写真右の土器を逆さまにして、その上に写真左の土器が置かれていました。

お問い合わせ

**伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館**

入館無料

群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98

電話 0270-63-0030

FAX0270-63-0087

休館日: 月曜日・祝日の翌日・年末年始・臨時休館日

開館時間: 午前9時~午後5時(入館は4時30分まで)